

調査レポート

アジア経済概況 (2012 年 5・6 月)

【目次】

I. 中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況…景気は緩やかに減速も一部に景気テコ入れ策の効果 p.1
- 2. 中国の主要指標解説:4-6 月期の実質 GDP 成長率は 7.6%に減速 …… p.3
- 3. 台湾経済の概況…長引く輸出の不振が景気の重石に …… p.4
- 4. 韓国経済の概況…4-6 月期の実質 GDP 成長率は 2.4%に減速 …… p.5

II. ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況…景気はゆっくりと持ち直している …… p.6
- 2. インドネシア経済の概況…海外景気の減速が景気下押し要因に …… p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 …… p.8
- 4. ベトナム経済の概況…上半期の実質 GDP 成長率は 4.4%にとどまる …… p.9
- 5. インド経済の概況…景気は減速している …… p.10

III. アジア通貨・株価動向 …… p.11

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 野田 麻里子 (chosa-report@murc.jp)

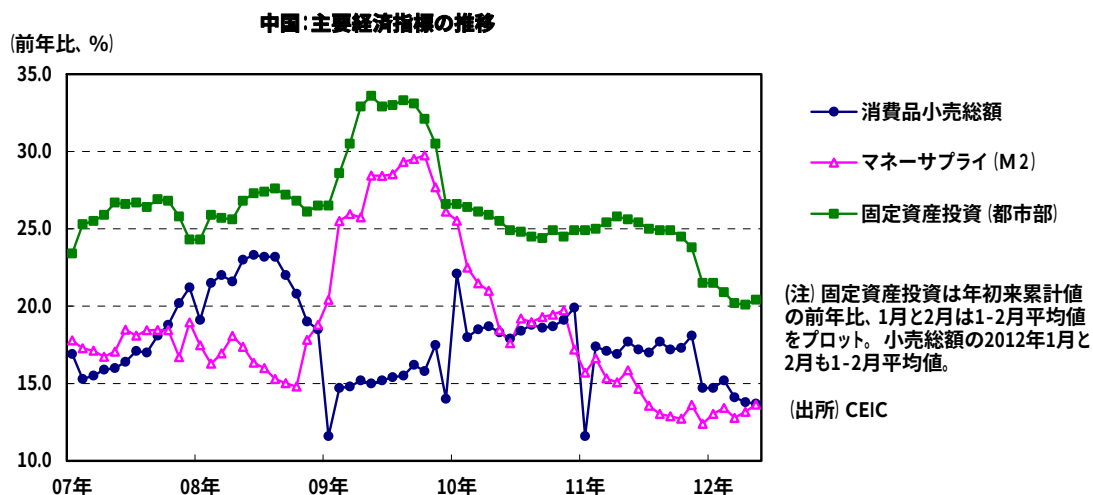
〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2

TEL:03-6733-1070

I. 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気は緩やかに減速しているが、一部に景気テコ入れ策の効果もみられる。
- ・ 2012 年 4-6 月期の実質 GDP 成長率は、政府の引締め政策と先進国景気の低迷の影響から、前年比 7.6%と 6 四半期連続で鈍化し、2009 年 1-3 月期（同 6.6%）以来、最も低い成長率となった（詳細は 3 頁参照）。
- ・ 4-6 月期の小売総額（名目）は前年比 13.9%増と 1-3 月期の同 15.2%増から鈍化した。自動車販売は、乗用車販売（1-3 月期同 16.6%増）をけん引役に同 10.0%増と持ち直した。今後については、ガソリン価格の引下げ、金融緩和などのプラス材料がある一方で、渋滞・大気汚染緩和のために大都市で導入が進む購入規制（新車登録台数の制限など）といったマイナス材料もあり、持ち直すものの、大幅な増加は見込み難いとみられる。固定資産投資（名目）は、景気テコ入れ策の一環として公共投資の実施加速が図られたこともあり、1-6 月期前年比 20.4%増と 1-5 月期の同 20.1%増からわずかに持ち直した。一方、4-6 月期の輸出は近隣アジア諸国向け、並びに米国向けなどが堅調に推移し、前年比 10.5%増と二桁増に持ち直した。
- ・ 消費者物価上昇率は食品価格の安定を背景に 6 月は前年比 2.2%に低下した。一方、生産者物価は 3 月以降前年比マイナスで推移。6 月には同 -2.1%とマイナス幅が一段と拡大しており、一部にデフレ圧力の高まりが見られる。
- ・ 中国人民銀行（中央銀行）は、6 月 7 日、7 月 5 日と 1 ヶ月も間を空けずに 2 度、利下げを発表し、金融政策の緩和への転換を明確にした（1 年物貸出基準金利：6.56%→6.31%→6.00%；1 年物預金基準金利：3.50%→3.25%→3.00%）。また同時に、預金金利の上限を基準金利の 110%（従来は 100%）に引上げる一方、貸出金利の下限を基準金利の 70%（従来は 90%、6 月に 80%）にまで引下げ、銀行が裁量で設定できる金利の幅を拡大。金利自由化に向けてさらに歩を進めた。



【中国・香港の主要経済指標】

			2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月	
GDP	実質GDP成長率	前期比%				2.4	2.3	1.9	1.6	1.8				
		前年比%				9.5	9.1	8.9	8.1	7.6				
	(累計ベース)	前年比%	9.2	10.4	9.2	9.6	9.4	9.2	8.1	7.8				
	名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	8.6	17.8	17.4	17.7	17.8	17.4	11.2	10.4				
消費	社会消費品小売総額	前年比%	15.5	18.4	17.1	17.2	17.3	17.5	15.2	13.9	14.1	13.8	13.7	
	うち市(→都市部)	前年比%	15.5	18.8	17.2	17.4	17.4	17.6	15.2	13.8	14.0	13.7	13.7	
	うち県(→農村部)	前年比%	16.4	16.2	16.6	16.5	16.7	17.5	14.6	14.3	14.5	14.3	14.0	
	自動車販売台数	前年比%	45.4	32.4	2.5	▲ 0.8	4.4	▲ 0.7	▲ 3.9	10.0	4.7	16.2	9.9	
	うち乗用車(セグメント、SUV他)	前年比%	52.9	33.2	5.2	3.0	7.9	2.1	▲ 1.8	16.6	11.7	22.9	15.8	
	消費者自信指数	期中平均	101.9	105.5	103.3	106.8	104.7	99.3	103.0	102.1	103.0	104.2	99.3	
	消費者期待指数	期中平均	101.2	105.8	106.6	108.5	110.4	104.4	108.9	106.9	108.5	108.9	103.2	
	投資	固定資産投資(都市部・500万元以上;年初来累計)	前年比%	30.5	24.5	23.8	25.6	24.9	23.8	20.9	20.4	20.2	20.1	20.4
うち不動産・居住用建物		前年比%	19.9	33.5	29.7	31.9	32.6	29.7	27.0	22.1	23.2	23.1	22.1	
うち国内企業		前年比%	33.8	25.6	24.7	26.3	25.7	24.7	21.4	21.0	20.7	20.6	21.0	
うち製造業		前年比%	26.8	27.0	31.8	32.4	31.5	31.8	24.8	24.5	24.4	24.5	24.5	
うち鉄鋼		前年比%	▲ 1.3	6.1	14.6	14.8	20.0	14.6	8.0	9.4	8.2	8.0	9.4	
うち輸送機械(→自動車)		前年比%	31.3	31.7	27.2	34.8	32.1	27.2	0	0	40.6	39.5	36.0	
うち電気機械		前年比%	51.2	40.4	44.6	55.0	50.0	44.6	11.2	8.3	8.8	9.5	8.3	
うち情報通信機器		前年比%	6.7	48.2	34.2	48.0	39.4	34.2	12.4	12.6	9.8	10.8	12.6	
直接投資契約件数(累計ベース)		前年比%	▲ 14.9	16.9	1.1	8.8	6.2	1.1	▲ 9.4	▲ 13.1	▲ 13.9	▲ 12.2	▲ 13.1	
直接投資実行額(累計ベース)		前年比%	▲ 13.2	12.4	9.7	18.4	16.6	9.7	▲ 2.8	▲ 3.0	▲ 2.4	▲ 1.9	▲ 3.0	
不動産景気指数		期中平均	98.4	104.3	101.6	102.7	101.0	99.7	97.4	95.1	95.6	94.9	94.7	
貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	195.7	181.5	155.1	46.3	62.6	48.3	0.6	68.4	18.6	18.1	31.7	
	輸出(ドルベース)	前年比%	▲ 16.0	31.3	20.3	22.0	20.6	14.2	7.6	10.5	4.9	15.3	11.3	
	輸入(ドルベース)	前年比%	▲ 11.2	38.8	24.9	23.1	24.9	20.1	6.9	6.5	0.2	13.1	6.3	
	対米貿易収支	10億ドル	143.3	181.3	202.3	50.0	60.9	57.0	42.4	57.2	16.9	19.7	20.7	
	対日貿易収支	10億ドル	▲ 33.0	▲ 55.6	▲ 46.3	▲ 11.0	▲ 12.0	▲ 8.3	▲ 6.9	▲ 7.8	▲ 2.2	▲ 2.7	▲ 2.9	
	外貨準備	期末10億ドル	2399.2	2847.3	3181.1	3197.5	3201.7	3181.1	3305.0	3240.0	3298.9	3206.1	3240.0	
生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	11.0	15.7	13.9	14.3	14.2	13.9	11.6	10.5	11.0	10.7	10.5	
	うち国有企業	前年比%	6.9	13.7	9.9	10.7	10.4	9.9	7.2	7.0	6.6	6.7	7.0	
	うち株式企業	前年比%	13.3	16.8	15.8	16.1	16.1	15.8	13.8	12.4	12.9	12.4	12.4	
	うち外商・港台澳企業	前年比%	6.2	14.5	10.4	11.1	10.9	10.4	6.4	6.3	6.6	6.5	6.3	
	発電量	前年比%	6.8	14.0	10.9	12.0	10.8	8.9	6.5	1.2	1.5	3.2	▲ 0.9	
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	52.9	53.8	51.4	51.9	50.9	49.9	51.5	51.3	53.3	50.4	50.2	
	うち新規受注	%	55.4	55.8	51.9	52.2	51.2	49.4	52.2	51.2	54.5	49.8	49.2	
	うち雇用	%	49.9	51.8	50.2	51.0	50.6	49.1	49.2	50.4	51.0	50.5	49.7	
新規輸出受注	%	49.5	52.8	50.0	51.0	49.9	47.6	50.0	50.0	52.2	50.4	47.5		
所得 雇用	都市一人当たり所得(累計ベース)	前年比%	10.5	11.5	14.0	12.9	13.5	14.0	14.1					
	労働力市場求人倍率	期末	0.97	1.01	1.04	1.07	1.04	1.04	1.08	1.05				
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	39.7	34.5	40.4	36.9	41.1	40.4	43.5					
物価	消費者物価指数	前年比%	▲ 0.7	3.3	5.4	5.7	6.3	4.6	3.8	2.9	3.4	3.0	2.2	
	うち食品	前年比%	0.8	7.2	11.8	12.5	13.9	9.9	8.1	5.7	7.0	6.4	3.8	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	0.2	0.0	2.4	2.4	2.8	2.8	2.4	2.0	2.2	1.9	1.9	
	生産者物価指数	前年比%	▲ 5.4	5.5	6.1	6.9	7.1	3.1	0.1	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 2.1	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	27.7	19.7	13.6	15.9	13.0	13.6	13.4	13.6	12.8	13.2	13.6	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	1.03	1.67	3.14	3.06	3.63	3.33	3.30	2.65	3.18	2.13	2.65	
	株価指数(上海総合)	期末	3,277	2,808	2,199	2,762	2,359	2,199	2,263	2,225	2,396	2,372	2,225	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.83	6.77	6.46	6.50	6.42	6.34	6.31	6.31	6.30	6.31	6.32	
	為替レート(円/元)	期中平均	13.7	12.9	12.3	12.6	12.1	12.2	12.5	12.7	12.9	12.7	12.5	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	▲ 2.6	7.1	5.0	5.4	4.4	3.0	0.4				
		うち民間消費	前年比%	0.7	6.7	8.5	9.9	9.5	6.6	5.6				
		うち固定資本形成	前年比%	▲ 3.9	7.7	7.6	7.7	11.7	9.8	12.2				
	名目GDP成長率	前年比%	▲ 3.2	7.3	8.9	10.6	9.4	6.8	3.2					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	▲ 0.8	15.6	18.5	22.1	19.6	16.2	11.0		7.2	4.9	
	貿易	貿易収支	10億HKドル	▲ 224	▲ 335	▲ 426	▲ 118	▲ 111	▲ 116	▲ 99	▲ 123	▲ 43	▲ 36	▲ 45
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	▲ 12.6	22.7	10.2	7.9	4.3	7.0	▲ 1.5	1.8	5.6	5.2	▲ 4.8
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	▲ 11.0	25.0	11.9	10.3	8.8	9.3	0.7	2.1	5.0	4.6	▲ 2.9
	物価	消費者物価指数	前年比%	0.6	2.3	5.3	5.2	6.4	5.7	5.2	4.2	4.7	4.2	3.7
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	7.1	5.3	12.8	15.2	14.2	11.2	13.2		10.1	7.1	
ハンセン指数		期末ポイント	21,873	23,035	18,434	22,398	17,592	18,434	20,556	19,441	21,094	18,630	19,441	

(出所) CEIC (注) 小売総額の内訳は2010年以降、上段(都市部)、下段(農村部)。固定資産投資統計の基準は2011年以降500万元から500万元に変更。

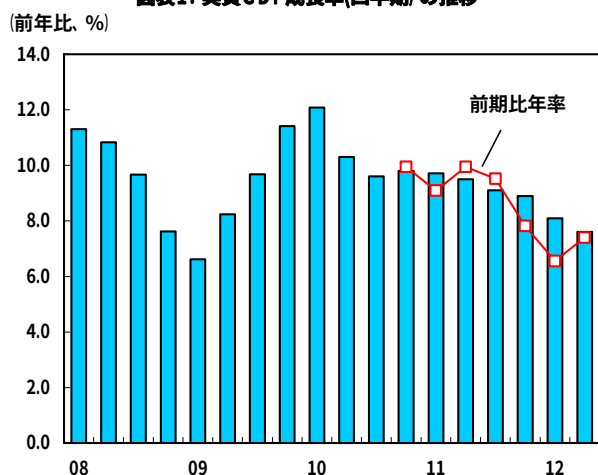
2. 中国の主要指標解説：4-6 月期の実質 GDP 成長率は 7.6% に減速

4-6 月期の実質 GDP 成長率は前年比 7.6% と 1-3 月期の同 8.1% から一段と減速した。前期比年率ベースでも 4-6 月期は 7.4% と政府の成長率目標の 7.5% を下回った。ただし、1-3 月期の前期比年率 6.6% からは持ち直しており、景気は底入れしたと見られる(図表 1)。

実際、5 月以降の景気テコ入れ策(エコ家電やエコカーの購入に対する補助金の支給、公共投資の加速など)と金融政策の緩和への転換を背景に足元、実質ベースで見ると投資に加えて消費も伸び率が持ち直してきている(図表 2、3)。

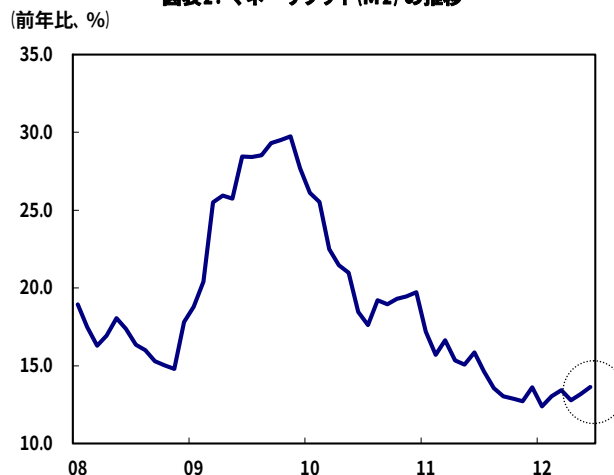
しかし、4 兆元の経済対策により V 字回復した 2009 年とは違い、今後の景気の持ち直しは緩やかなものにとどまるとみられる。これは、①2011 年時点で名目 GDP の 5.6% を占め、投資の拡大をリードしてきた不動産投資(図表 4)については、バブル再発防止のため、今後も厳しい投資規制が維持されると見られること、また②高成長のもう一方のけん引役であった輸出については、輸出の約 2 割を占める欧州向けが財政金融危機の影響から当面、回復が期待できないとみられ、その分、輸出の持ち直しは緩慢なものにとどまるとみられるためである。

図表 1. 実質 GDP 成長率(四半期)の推移



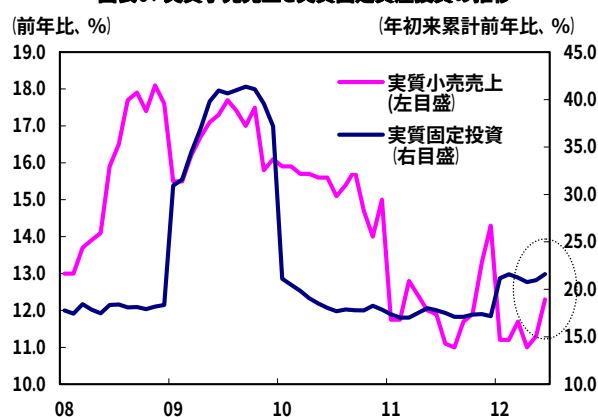
(出所) CEIC

図表 2. マネーサプライ(M2)の推移



(出所) CEIC

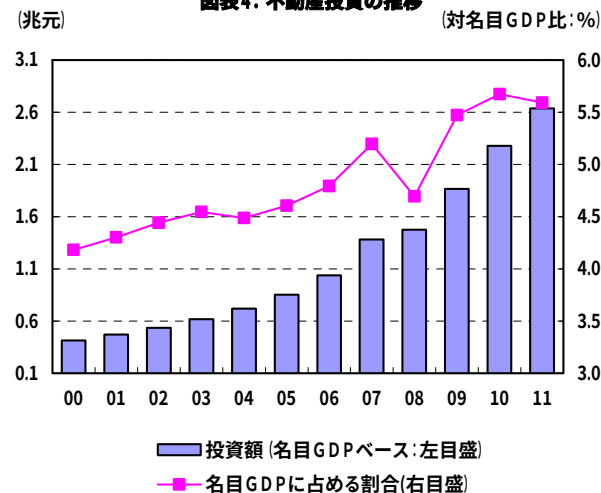
図表 3. 実質小売売上と実質固定資産投資の推移



(注) 小売売上は小売物価で、また固定資産投資は生産者物価で実質化。1,2月是小売売上、固定資産とも春節の影響を除くため1-2月平均値をプロット。

(出所) CEIC

図表 4. 不動産投資の推移



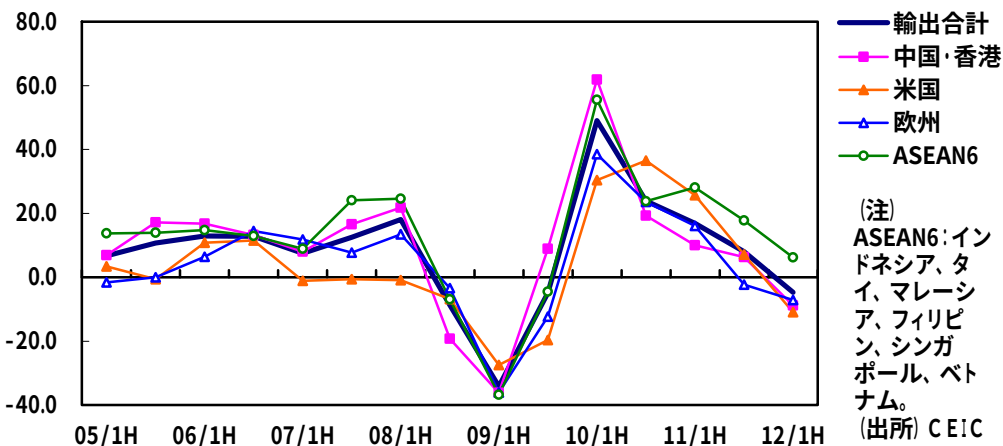
(出所) CEIC

3. 台湾経済の概況

- ・ 長引く輸出の不振が景気の重石になっている。
- ・ 中国・香港（台湾の輸出の約4割）、欧州（同約1割）、米国（同約1割）など主要輸出市場の景気減速を受け、4-6月期前年比5.4%減と輸出の不振が続いている。また先行きについても6月の輸出受注が前年比2.6%減と依然として低迷しており、当面、輸出が伸び悩む局面が続く見通しである。
- ・ 輸出の不振を受け、生産も前年比マイナスで低迷しており、成長率見通しの下方修正が相次いでいる。最近では、総統府直属のシンクタンクである中央研究院が7月半ばに成長率見通しを昨年12月時点の3.81%から1.94%に大幅下方修正した。
- ・ 6月の消費者物価は豪雨による野菜の値上がりと電気料金の引上げから前年比1.8%上昇した。今後も台風などにより食品価格の上昇が続く可能性はあるが、需要面からインフレ圧力が高まる状況にはないとみられる。

(前年比、%)

台湾：主要輸出先別の輸出の推移



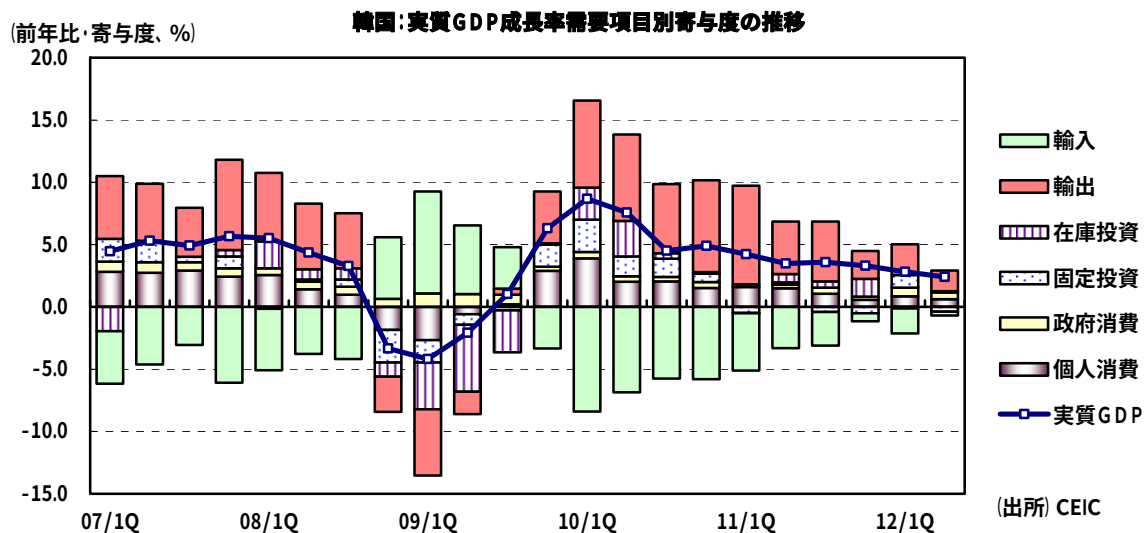
【台湾の主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.5	▲ 0.5	▲ 0.5	0.7				
	(前年比)	▲ 1.8	10.7	4.0	4.5	3.4	1.8	0.4				
	うち民間消費	0.8	3.7	3.0	3.0	3.2	1.1	1.7				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	▲ 11.2	24.0	▲ 3.9	1.4	▲ 9.1	▲ 12.8	▲ 10.5				
貿易 及び 対外 関連	貿易収支 (10億\$)	29.3	23.4	26.8	5.6	7.8	8.9	5.7	5.5	0.7	2.3	2.6
	輸出(yoy)	▲ 20.3	34.8	12.3	14.6	11.6	4.5	▲ 4.0	▲ 5.4	▲ 6.5	▲ 6.3	▲ 3.2
	輸出受注(yoy)	▲ 8.3	26.1	7.2	10.3	6.3	2.0	1.5	▲ 3.1	▲ 3.5	▲ 3.0	▲ 2.6
	輸入(yoy)	▲ 27.5	44.1	12.0	18.9	10.2	▲ 0.9	▲ 5.9	▲ 5.8	1.9	▲ 10.5	▲ 8.4
雇用	経常収支 (10億\$)	42.9	39.9	41.6	8.4	10.3	12.3	10.9				
	外貨準備高 (10億\$)	348	382	386	400	389	386	394	391	395	389	391
	失業率(季調値)	5.8	5.2	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2
	物価											
金融	消費者物価(yoy)	▲ 0.9	1.0	1.4	1.6	1.3	1.4	1.3	1.7	1.4	1.7	1.8
	マネーサプライ(M2,yoy)	5.8	5.4	4.8	5.9	5.7	4.8	5.1	4.2	4.4	4.6	4.2
	株価指数(加権指数)	8,188	8,973	7,072	8,653	7,225	7,072	7,933	7,296	7,502	7,302	7,296
	短期金利(オーバーナイト)	0.12	0.18	0.34	0.32	0.39	0.40	0.40	0.50	0.48	0.51	0.51
	為替レート(NT\$/¥)	33.1	31.6	29.5	28.9	29.2	30.3	29.7	29.7	29.5	29.5	29.9
	為替レート(円/NT\$)	2.83	2.77	2.70	2.82	2.66	2.56	2.67	2.70	2.75	2.70	2.65

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の一段の落ち込みから景気回復が後ずれしている。4-6 月期の実質GDP成長率は輸出の落ち込みとこれを受けた投資の鈍化から前年比 2.4%に減速した。
- ・ 6 月の輸出は前年比 1.1%増とプラスに転じたが、1-6 月期では前年比 0.7%増と 2011年7-12月期の同 14.9%増から大幅に鈍化した。これは主要輸出先のうち米国、並びに ASEAN 向けの輸出は 1-6 月期前年比プラスで推移しているものの、EU 向けが同 16.0%減と大幅に落ち込んだのに加えて、最大の輸出相手国である中国向けが現地の景気減速の影響から同 1.2%減とマイナスに転じたことが主因である。
- ・ こうした中で韓國中銀は 7 月 12 日、世界経済の先行きが依然として不透明であるとして 2009 年 2 月以来 3 年 5 ヶ月ぶりとなる政策金利の引下げ(3.25%→3.00%)を決めた。また、今年の成長率見通しを 4 月時点の 3.5%から 3.0%に引き下げた。



【韓国の主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.8	0.8	0.3	0.9	0.4			
	(前年比)	0.3	6.3	3.6	3.5	3.6	3.3	2.8	2.4			
	うち民間消費支出	▲ 0.0	4.4	2.3	3.0	2.1	1.1	1.6	1.2			
	うち固定資本形成	▲ 1.0	5.8	▲ 1.1	0.7	▲ 1.5	▲ 1.8	4.6	▲ 1.5			
	うち設備	▲ 9.8	25.7	3.7	7.7	1.2	▲ 3.3	8.6	▲ 2.9			
生産	鉱工業生産(yoy)	▲ 0.1	16.3	6.9	7.1	5.3	5.0	3.9		0.0	2.6	
消費	小売売上高(数量,yoy)	2.7	6.7	4.4	5.7	4.6	1.9	2.0		0.3	2.2	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億\$)	40.4	41.2	30.8	8.3	6.3	9.2	1.4	9.2	2.1	2.2	4.9
	輸出(yoy)	▲ 13.9	28.3	19.0	18.6	21.4	9.0	3.0	▲ 1.6	▲ 5.0	▲ 0.8	1.1
	輸入(yoy)	▲ 25.8	31.6	23.3	27.1	27.7	13.4	7.7	▲ 2.4	▲ 0.4	▲ 1.2	▲ 5.5
	経常収支(10億\$)	32.8	29.4	26.5	5.5	6.9	11.5	2.6		1.7	3.6	
	外貨準備高(10億\$)	270	292	306	304	303	306	316	312	317	311	312
雇用	失業率(季調値)	3.6	3.7	3.4	3.4	3.2	3.1	3.4	3.3	3.4	3.2	3.2
物価	消費者物価(yoy)	2.8	2.9	4.0	4.0	4.3	4.0	3.0	2.4	2.5	2.5	2.2
金融	M2(10億\$)	9.9	6.0	5.5	2.9	4.5	5.5	6.4		4.5	5.7	
	株価指数(総合)	1,683	2,051	1,826	2,101	1,770	1,826	2,014	1,854	1,982	1,843	1,854
	C/Dレート(3ヵ月物)	2.63	2.67	3.44	3.46	3.59	3.56	3.54	3.54	3.54	3.54	3.54
	為替レート(₩/1\$)	1,277	1,156	1,108	1,084	1,084	1,145	1,132	1,152	1,136	1,154	1,166
	為替レート(円/100₩)	7.3	7.5	7.2	7.5	7.0	6.8	7.1	6.9	7.1	6.7	6.9

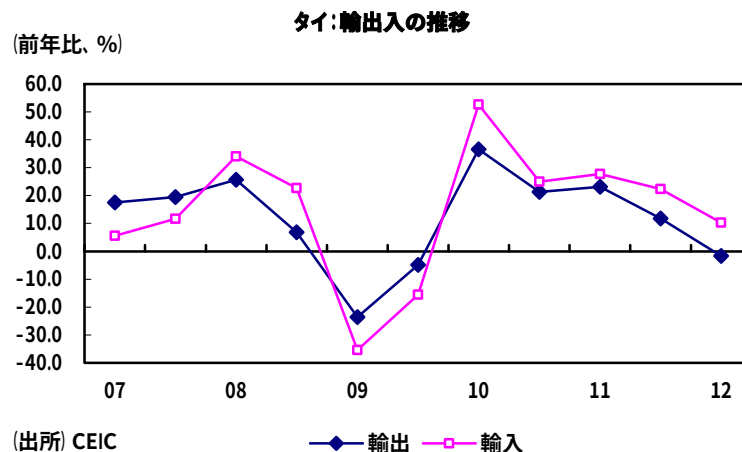
(出所) CEIC

(注) yoy=前年比(%)

II. ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 大洪水被害からの復興を背景に、景気はゆっくりと持ち直している。
- ・ 5 月の製造業生産は、自動車的大幅増産（前年比 136.2%増）による押し上げから同 5.5%増と 9 ヶ月ぶりに前年比プラスに回復。平均稼働率も 73.3%に持ち直した。
- ・ 生産の回復を受けて消費も堅調に推移している。5 月の総合消費指数は前年比 6.6%増と堅調であった。一方、輸出は海外景気減速の影響から鈍化基調で推移しているが、輸入は洪水により使えなくなった機械の取替え需要もあり、資本財を中心に増勢が続いている。
- ・ タイ中銀は 7 月 25 日、成長率は潜在成長率近くまで回復している一方、物価は目標圏内に収まっているとし、政策金利の据え置き（3.00%）を決めた。同時に海外経済減速の影響を考慮し、今年の成長率見通しを 6.0%から 5.7%に下方修正した。



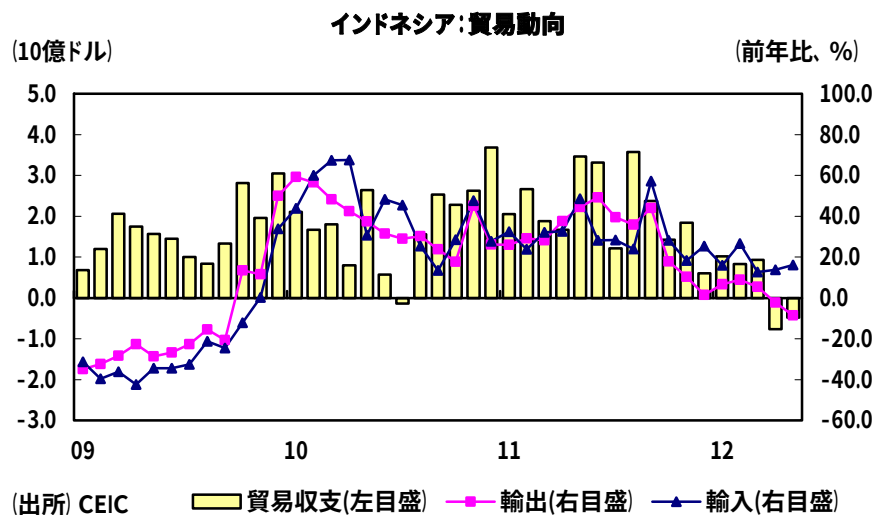
【タイの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	▲ 2.3	7.8	0.1	2.7	3.7	▲ 8.9	0.3				
	民間消費	0.1	5.1	1.3	2.5	2.8	▲ 3.0	2.0				
	総固定資本形成	▲ 9.2	9.4	3.3	4.1	3.3	▲ 3.6	5.2				
生産	製造業生産指数(yoy)	▲ 7.2	14.4	▲ 9.3	▲ 2.5	1.8	▲ 34.2	▲ 6.9		▲ 0.1	5.5	
消費	総合消費指数(yoy)	▲ 2.6	5.5	3.6	4.5	4.2	1.2	4.1		3.3	6.6	
投資	民間企業投資指数(yoy)	▲ 12.0	19.0	8.5	11.5	7.7	0.3	5.7		12.6	14.0	
輸出入	貿易収支 (10億 ^{ドル})	18.7	12.4	0.3	0.3	1.8	▲ 4.5	▲ 5.2	▲ 5.2	▲ 2.9	▲ 1.7	▲ 0.5
	輸出(yoy)	▲ 14.3	28.1	17.2	18.5	29.0	▲ 4.8	▲ 3.9	▲ 0.0	▲ 3.7	7.7	▲ 4.2
	輸入(yoy)	▲ 25.4	36.8	24.9	28.6	32.7	12.1	10.4	9.5	7.9	18.2	2.6
国際収支	経常収支 (10億 ^{ドル})	21.9	13.2	11.9	0.9	3.1	1.8	0.6		▲ 1.5	▲ 1.5	
	外貨準備高 (10億 ^{ドル})	133.6	165.7	165.2	176.6	170.0	165.2	168.8	164.6	168.5	161.8	164.6
雇用	失業率 (季調前)	1.5	1.1	0.7	0.6	0.7	0.6	0.7		1.0	0.9	
物価	消費者物価 (総合,yoy)	▲ 0.8	3.3	3.8	4.1	4.1	4.0	3.4	2.5	2.5	2.5	2.6
	消費者物価 (コア,yoy)	0.3	0.9	2.4	2.4	2.8	2.8	2.7	2.0	2.1	2.0	1.9
金融	マネーサプライ (broad M,yoy)	6.8	10.9	15.2	16.3	16.2	15.2	13.1		10.5	10.1	
	株価指数 (SET)	735	1033	1025	1041	916	1025	1197	1172	1228	1142	1172
	インターバンク金利 (3M)	1.58	1.61	3.12	3.01	3.52	3.45	3.12	3.14	3.13	3.14	3.14
	為替レート (円/バツ)	34.3	31.7	30.5	30.3	30.1	31.0	31.0	31.3	30.9	31.3	31.7
	為替レート (円/バツ)	2.7	2.8	2.6	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 内需主導の景気回復が続いているが、欧州の財政金融危機などに起因する海外経済の減速が景気の下押し要因になっている。
- ・ 輸出は、海外市場の需要鈍化と一次産品価格の低下から4月、5月と2ヶ月連続して前年比マイナスとなった。一方、堅調な消費を背景に輸入の拡大が続いており、貿易収支は赤字に転じている。
- ・ 貿易収支の赤字化に折からの先進国の投資資金の引き揚げの動きが重なり、インドネシア・ルピアの対ドル相場は足元、安値基調で推移している。また、内需の堅調を反映して消費者物価上昇率は4月以降、前年比4%台で推移している。
- ・ こうした中で、インドネシア中銀は、7月12日の理事会で5ヶ月連続となる政策金利の据え置き（5.75%）を決めた。また海外経済減速の影響を勘案し、今年の成長率見通しを6.3～6.7%から6.1～6.5%に下方修正した。



【インドネシアの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月
GDP (yoy)	実質GDP	4.6	6.2	6.5	6.5	6.5	6.5	6.3				
	民間消費支出	4.9	4.7	4.7	4.6	4.8	4.9	4.9				
	総固定資本形成	3.3	8.5	8.8	9.3	7.1	11.5	9.9				
生産	製造業生産(yoy)	1.3	4.4	4.0	2.3	7.6	2.8	3.2		5.3	2.5	
消費	小売売上(yoy)	n.a.	n.a.	9.0	9.4	9.1	9.1	13.1		11.7	8.0	
輸出入	貿易収支(10億 ^{ドル})	19.7	22.1	26.1	8.4	7.2	3.9	2.8		▲ 0.8	▲ 0.5	
	輸出(yoy)	▲ 15.0	35.5	28.9	43.8	39.6	9.4	6.9		▲ 2.3	▲ 8.5	
	(除く石油ガス,yoy)	▲ 9.7	33.1	24.8	37.3	28.8	8.6	3.9		▲ 2.4	▲ 7.7	
	輸入(yoy)	▲ 24.9	40.1	30.8	35.8	34.8	23.9	17.9		13.8	16.1	
国際収支	経常収支(10億 ^{ドル})	10.6	5.1	1.7	0.1	0.5	▲ 1.6	▲ 2.9				
	外貨準備高(10億 ^{ドル})	60.4	89.8	103.4	112.9	107.5	103.4	103.1	99.4	109.0	104.5	99.4
物価	消費者物価(yoy)	4.8	5.1	5.4	5.9	4.7	4.1	3.7	4.5	4.5	4.5	4.5
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	13.0	15.4	16.4	13.1	16.2	16.4	18.8		20.2	20.9	
	株価指数(総合)	2,534	3,704	3,822	3,889	3,549	3,822	4,122	3,956	4,181	3,833	3,956
	中銀債金利(3ヵ月)	6.5	6.5	6.0	6.8	6.8	6.0	5.8	5.8	5.8	5.8	5.8
	為替レート(ルピア/ドル)	10,354	9,078	8,773	8,569	8,636	9,024	9,088	9,412	9,190	9,565	9,480
	為替レート(円/100ルピア)	0.91	0.96	0.91	0.95	0.89	0.87	0.88	0.84	0.87	0.82	0.84

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)、製造業生産は11年以降、2010年=100基準。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	▲ 1.5	7.2	5.1	4.3	5.7	5.2	4.7				
	民間消費	0.6	6.6	7.1	6.6	7.6	7.3	7.4				
	総固定資本形成	▲ 2.7	10.4	6.5	2.7	5.4	8.4	16.2				
生産	鉱工業生産 (yoy)	▲ 7.6	7.2	1.2	▲ 1.7	2.1	2.3	3.2		3.2	7.6	
消費	自動車販売台数 (yoy)	▲ 2.0	12.7	▲ 0.8	▲ 9.7	0.6	▲ 1.3	▲ 12.6	17.2	▲ 6.2	26.6	35.4
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	33.4	34.1	39.3	9.1	9.9	9.9	9.7		2.5	1.5	
	輸出 (yoy)	▲ 21.2	26.5	14.4	16.8	16.3	8.5	4.0		▲ 1.7	3.6	
	輸入 (yoy)	▲ 20.9	33.1	14.3	15.3	12.1	6.3	6.5		5.6	12.9	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	31.4	27.3	31.7	7.6	9.1	7.1	5.9				
	外貨準備高 (10億ドル)	86	96	120	121	118	120	122	122	123	123	122
雇用	失業率 (%)	3.7	3.3	3.1	3.0	3.1	3.0					
物価	消費者物価 (yoy)	0.6	1.7	3.2	3.3	3.4	3.2	2.3	1.7	1.9	1.7	1.6
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	9.5	7.2	14.6	12.4	13.0	14.6	15.2		15.2	13.8	
	株価指数 (総合)	1,273	1,519	1,531	1,579	1,387	1,531	1,596	1,599	1,571	1,581	1,599
	インターバンク金利 (1M, %)	2.18	2.56	2.97	2.96	3.05	3.05	3.05		3.06	3.06	
	為替レート (リンギ/ドル)	3.52	3.22	3.06	3.02	3.02	3.15	3.06	3.11	3.06	3.10	3.18
	為替レート (円/リンギ)	26.5	27.2	26.0	27.0	25.7	24.5	25.9	25.7	26.6	25.7	24.9

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)、鉱工業生産は2005年基準。消費者物価は06年以降、2005年=100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	1.1	7.6	3.9	3.6	3.2	4.0	6.4				
	民間消費支出	2.3	3.4	6.3	5.6	7.4	6.4	6.6				
	固定資本形成	▲ 1.7	19.1	0.2	▲ 9.5	1.0	▲ 2.4	2.8				
生産	鉱工業生産 (yoy)	▲ 13.2	16.9	2.1	3.9	2.6	▲ 6.8	7.2		4.9	4.7	
消費	自動車販売台数 (yoy)	6.4	25.6	▲ 14.9	▲ 22.4	▲ 16.4	▲ 13.6	▲ 10.2	19.5	4.1	30.7	24.8
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	▲ 4.7	▲ 3.4	▲ 12.2	▲ 2.4	▲ 2.6	▲ 3.8	▲ 2.6		▲ 0.1	▲ 0.5	
	輸出 (yoy)	▲ 21.7	34.0	▲ 6.2	1.2	▲ 14.3	▲ 16.8	4.8		7.6	19.7	
	輸入 (yoy)	▲ 24.1	27.5	10.1	9.7	10.3	▲ 0.9	▲ 1.5		▲ 13.6	10.1	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	9.4	8.9	7.1	1.9	2.4	1.8	0.9				
	外貨準備高 (10億ドル)	44.2	62.4	75.3	69.0	75.2	75.3	76.1	76.1	76.5	76.1	76.1
雇用	失業率 (%)	7.5	7.4	7.4	7.2	7.1	6.4	7.2	6.9			
物価	消費者物価 (yoy)	4.2	3.8	4.7	4.9	4.7	4.7	3.1	2.9	3.0	2.9	2.8
金融	マネーサプライ (yoy)	8.3	10.6	6.3	11.4	7.4	6.3	5.6		9.1	7.9	
	株価指数 (総合)	3,053	4,201	4,372	4,291	4,000	4,372	5,108	5,246	5,203	5,091	5,246
	インターバンク金利 (3ヵ月, %)	4.50	3.77	2.52	3.01	2.51	2.79	3.36	3.38	3.49	3.37	3.29
	為替レート (ペソ/ドル)	47.6	45.1	43.3	43.2	42.8	43.5	43.0	42.8	42.7	42.9	42.8
	為替レート (円/ペソ)	1.96	1.94	1.84	1.89	1.82	1.78	1.84	1.87	1.90	1.86	1.85

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)、マネーサプライは2007年までM2、2008年以降はM3。

【シンガポールの主要経済指標】

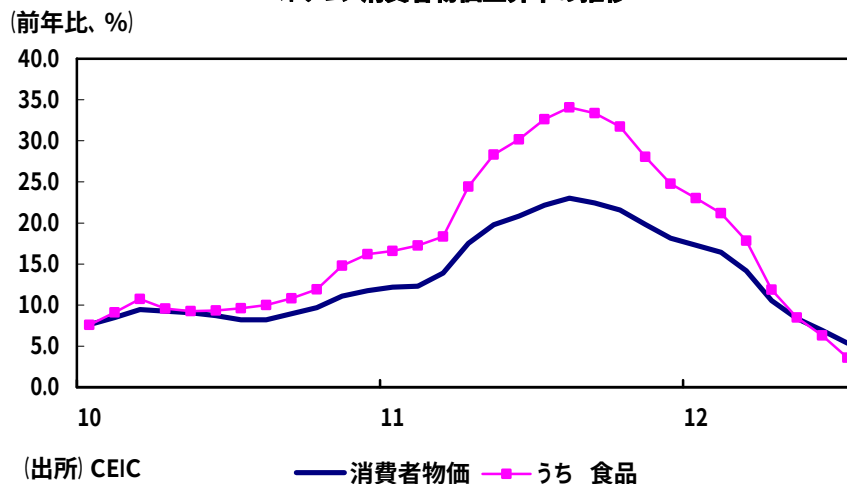
		2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	▲ 1.0	14.8	4.9	1.2	6.0	3.6	1.6				
	民間消費	0.1	6.5	4.1	5.5	5.9	1.9	4.3				
	総固定資本形成	▲ 2.9	7.0	3.3	8.6	8.0	▲ 0.2	18.4				
生産	鉱工業生産 (yoy)	▲ 4.2	29.7	7.8	▲ 3.8	8.9	9.3	▲ 0.8	4.5	▲ 1.0	6.8	7.6
消費	小売売上金額 (yoy)	▲ 2.5	▲ 0.3	4.2	9.5	4.5	5.8	9.5		2.2	0.5	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	23.9	40.8	43.8	9.7	12.1	10.6	7.1	6.7	3.6	1.6	1.6
	輸出 (yoy)	▲ 20.2	30.6	16.5	19.7	15.9	7.1	5.9	▲ 0.5	1.2	1.2	▲ 3.8
	輸入 (yoy)	▲ 23.1	26.7	17.7	21.6	17.6	11.2	11.8	2.6	1.2	3.9	2.6
国際収支	経常収支 (10億ドル)	30.1	55.5	57.0	13.7	15.8	13.2	10.5				
	外貨準備高 (10億ドル)	188	226	238	242	234	238	244	243	246	238	243
雇用	失業率 (季調値, %)	3.0	2.2	2.0	2.1	2.0	2.0	2.1				
物価	消費者物価 (yoy)	0.6	2.8	5.2	4.7	5.5	5.5	4.9	5.3	5.4	5.0	5.3
金融	マネーサプライ (M2, %)	11.3	8.6	10.0	10.7	11.3	10.0	9.7		6.4	6.7	
	株価指数 (ストリート)	2,898	3,190	2,646	3,120	2,675	2,646	3,010	2,878	2,979	2,773	2,878
	インターバンク金利 (3M, %)	0.69	0.56	0.41	0.44	0.33	0.44	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
	為替レート (S\$ /ドル)	1.45	1.36	1.26	1.24	1.23	1.29	1.26	1.26	1.25	1.26	1.28
	為替レート (円/S\$)	64.3	64.3	63.4	65.8	63.4	60.1	62.6	63.4	65.0	63.2	62.0

(出所) CEIC (注) yoy=前年比 (%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・ 景気の低迷が続いている。2012年1-6月期の実質GDP成長率は前年比4.4%と1-3月期の同4.0%からわずかに持ち直したものの、依然として2012年の成長率目標（6%）を大幅に下回っている。農林漁業、製造業、サービス業などは堅調だが、昨年2月以降の金融引締め政策の影響から建設業が依然として前年比5.4%減と低迷し、成長率を押し下げた。
- ・ 一方、7月の消費者物価上昇率は前年比5.4%と政府目標（10%未満）を大幅に下回る水準にまで下落してきた。こうした中でベトナム中銀は景気浮揚を図るため、7月1日、3月の利下げ開始以来5回目となる主要政策金利の引下げ（再割引金利：11%→10%、公定歩合：9%→8%）を決めた。3月以降の利下げ幅は合計で5%に達している。

ベトナム：消費者物価上昇率の推移



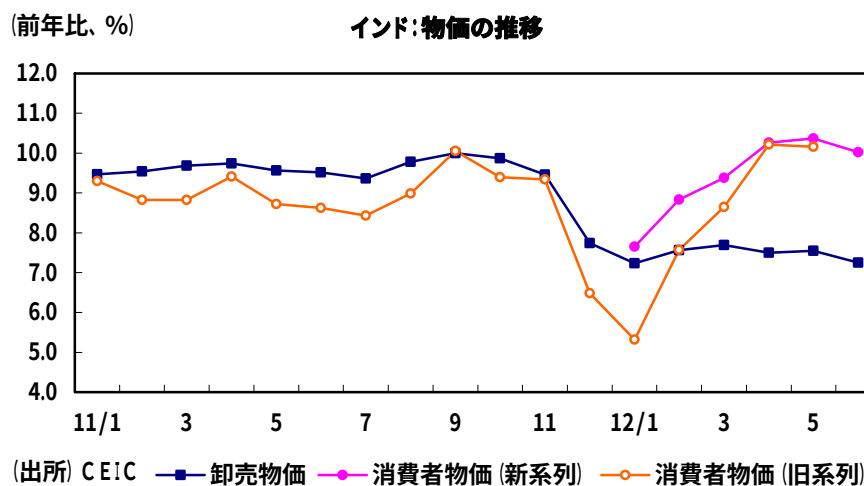
【ベトナムの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月
GDP (yoy) ytd	実質GDP	5.3	6.8	5.9	5.6	5.8	5.9	4.0	4.4			
	農業生産	1.8	2.8	4.0	2.1	2.4	4.0	2.8	2.8			
	鉱工業・建設生産	5.5	8.9	5.5	6.5	6.6	5.5	2.9	3.8			
生産	鉱工業生産(yoy)	7.1	10.7	6.7	6.9	9.1	7.0	8.7	7.4	7.5	6.8	8.0
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	18.6	24.5	24.2	22.6	22.8	24.2	21.8	19.5	21.6	20.8	19.5
輸出入	貿易収支(10億ドル)	▲12.4	▲12.1	▲8.9	▲3.1	▲0.8	▲1.6	0.3	▲0.7	0.0	▲0.5	▲0.2
	輸出(yoy)	▲7.1	26.7	33.1	28.8	39.7	29.3	28.3	22.8	20.5	34.1	15.2
	輸入(yoy)	▲10.8	21.6	24.4	26.4	28.6	16.2	7.8	11.0	0.3	18.1	14.8
国際収支	経常収支(10億ドル)	▲6.6	▲4.3	0.2	▲0.5	1.3	0.1					
	外貨準備高(10億ドル)	16.0	12.1									
物価	消費者物価(yoy)	6.7	9.2	18.6	19.4	22.5	19.9	16.0	8.6	10.5	8.3	6.9
金融	株価指数(VN index)	495	485	352	433	428	352	441	422	474	429	422
	プライムレート(翌日物:期末)	7.21	8.17	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	17,131	18,655	20,547	20,653	20,621	20,811	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828
	為替レート(円/100ドン)	0.55	0.47	0.39	0.39	0.38	0.37	0.38	0.38	0.39	0.38	0.38

(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)、ytd=年初来累計ベース、生産は2011年6月以降新基準。

5. インド経済の概況

- ・ 景気は減速している。5月の鉱工業生産は、製造業、中でも耐久消費財を中心に前年比2.4%増と小幅ながらプラスに転じた。しかし、当初前年比0.1%増と発表されていた4月の鉱工業生産が同0.9%減に下方修正されており、景気は依然として減速基調にあるとみられる。実際、6月の自動車販売は前年比6.2%増と前月（同9.7%増）より鈍化している。また、輸出も5月、6月と2ヶ月続けて前年比マイナスで推移している。
- ・ 6月の卸売物価上昇率は前年比7.3%と前月（同7.5%）から低下した。一方、消費者物価上昇率（新系列）も10.0%と前月（同10.4%）から0.4%ポイント低下したものの、依然として10%台で推移しており、卸売段階の物価の安定が小売段階にまで浸透していないとみられる。こうした中で7月31日に開かれる中銀の金融政策決定会合では、6月に続き、利下げは見送られるとみられている。



【インドの主要経済指標】

		2009年	2010年	2011年	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/4月	12/5月	12/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.6	8.2	7.5	8.0	6.7	6.1	5.3				
	農業生産	0.7	5.9	4.3	3.7	3.1	2.8	1.7				
	実質 GDP (年度)	8.3	8.4	6.5								
	農業生産 (年度)	1.3	7.0	2.8								
生産	鉱工業生産(yoy)	0.2	9.7	4.8	7.0	3.2	1.2	0.5		▲ 0.9	2.4	
消費	自動車販売台数(yoy)	15.7	30.8	16.2	17.9	16.5	10.8	11.9	8.1	8.6	9.7	6.2
輸出入	貿易収支 (10億 [₹])	▲ 92.3	▲ 123.9	▲ 158.2	▲ 45.4	▲ 41.9	▲ 46.8	▲ 46.4	▲ 40.1	▲ 13.5	▲ 16.3	▲ 10.3
	輸出(yoy)	▲ 15.4	37.3	34.5	37.5	45.4	12.2	3.3	▲ 2.5	3.2	▲ 4.2	▲ 5.9
	輸入(yoy)	▲ 19.9	36.2	32.1	36.0	39.0	29.0	24.5	▲ 5.9	3.8	▲ 7.4	▲ 13.1
国際収支	経常収支 (10億 [₹])	▲ 25.9	▲ 52.2	▲ 62.8	▲ 17.5	▲ 18.9	▲ 20.0	▲ 21.8				
	外貨準備高 (10億 [₹])	258.6	267.8	262.9	283.5	275.7	262.9	260.1		260.8	253.2	
物価	卸売物価(yoy)	2.4	9.6	9.5	9.6	9.7	9.0	7.5	7.4	7.5	7.5	7.3
	消費者物価(yoy)	10.9	12.0	8.9	8.9	9.2	8.4	8.6	10.2	10.3	10.4	10.0
金融	M3 (M3, yoy)	18.0	18.7	15.9	17.3	16.6	15.9	12.9	15.4	13.0	13.3	15.4
	株価指数(BSE Sensitive)	17,465	20,509	15,455	18,846	16,454	15,455	17,404	17,430	17,319	16,219	17,430
	T B3ヶ月	3.70	5.51	8.06	7.95	8.41	8.65	8.94	8.37	8.39	8.39	8.31
	為替レート (₹/₹)	48.4	45.8	46.9	44.7	46.4	51.4	49.9	55.1	52.5	56.4	56.3
	為替レート (₹/₹)	1.93	1.90	1.69	1.81	1.66	1.52	1.59	1.44	1.53	1.40	1.41

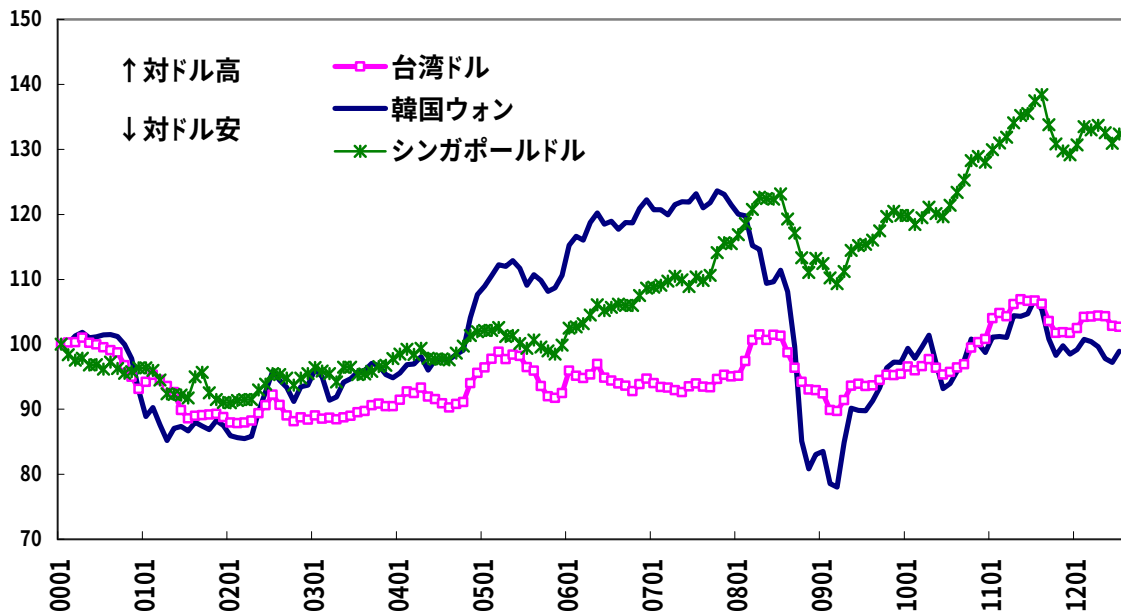
(出所) CEIC (注) yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月。消費者物価上昇率は2012年より新系列。

III. アジア通貨・株価動向

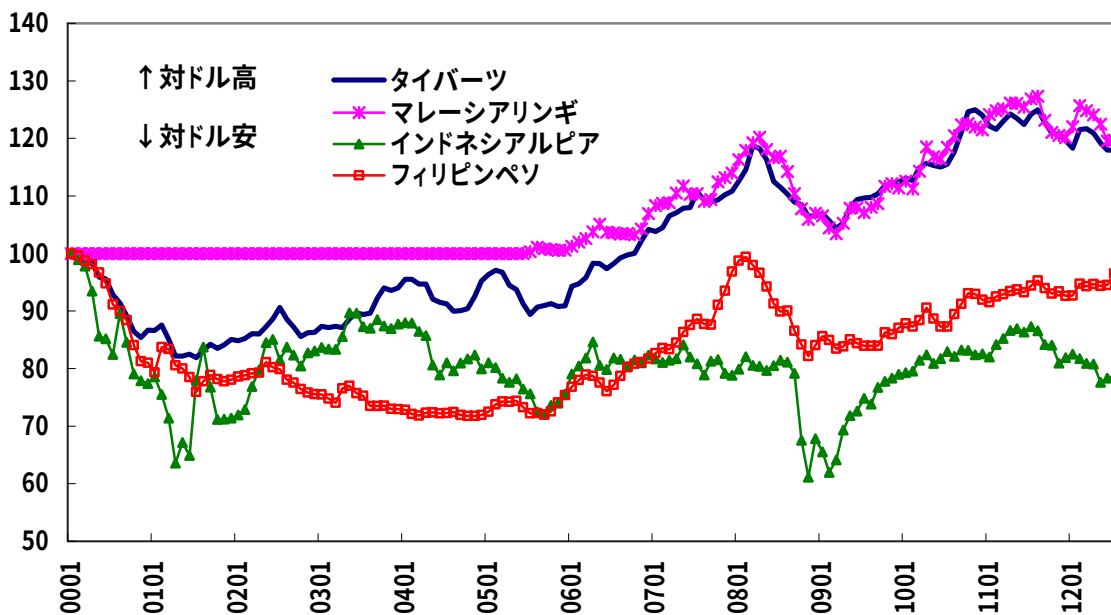
アジア通貨の対ドル相場の推移

<2000 年 1 月 = 100>

(2000年1月=100)



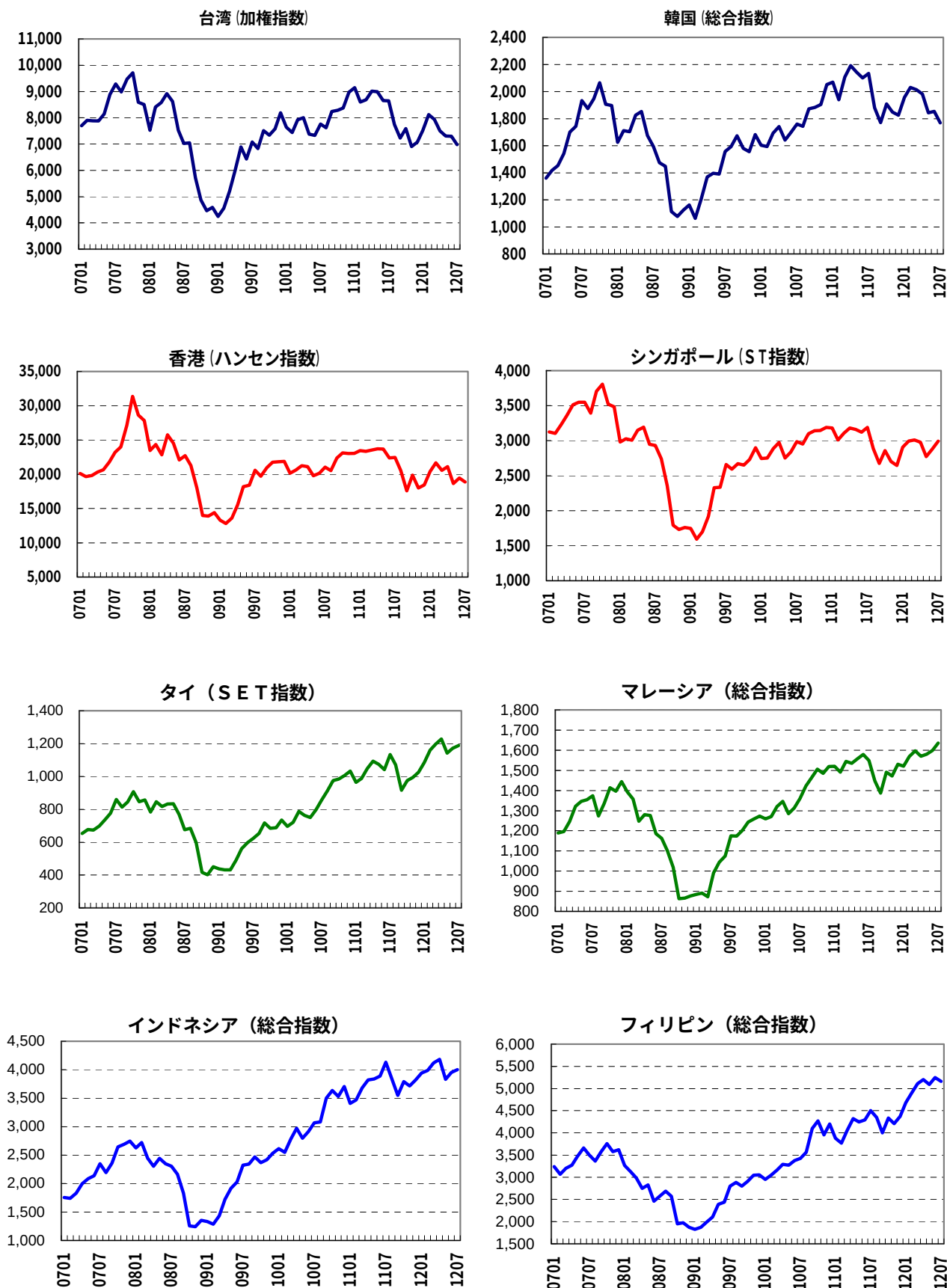
(2000年1月=100)



(出所) CEIC

(注) 直近データは7/2-7-25の平均値。

アジア諸国の株価動向（月末値）



（出所）CEIC

（注）直近データは7/25終値。

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡下さい。